

# 新ヘルスケア産業フ ォーラム 大会・交流 会2016を開催しまし た



新ヘルスケア産業フォーラムでは、2016年3月3日(木)に大会・交流会2016を名古屋栄ビルディング 12階大会議室(名古屋市東区武平町5-1)にて開催しました。



会議では、北川薫新ヘルスケア産業フォーラム代表(学校法人梅村学園 学事顧問)から主催者あいさつにて、フォーラム設立より、3年が経過し、部会においては、部会からの会員の連携を通じて新規ビジネスや新商品が生まれるなど、一定の成果で出てきていることや、ヘルスケア関連ビジネスについては、国内外において、ビジネスチャンスが広がっているのを、会員の皆様にも頑張ってもらいたいとのあいさつがありました。



次いで、小坂井修アイカ工業(株)設計推進部担当部長より、「超高齢化社会に対応した慰労介護空間について」と題して、部会の一つである「これからの高齢者住宅とコミュニティビジネスを考える部会」での活動から生まれたサービス付き高齢者向け住宅の実例紹介や、アイカ工業(株)が開発した医療・介護事業者向けの建材について紹介いただきました。



また、高橋功カゴメ(株)経営企画本部総務部部長より、(株)日本政策投資銀行が行う「DBJ健康経営(ヘルスマネジメント)格付」において最高ランクを取得している健康経営の取組内容、格付の評価の視点、格付取得による経営上のメリットについてお話いただきました。



一方、新ヘルスケア産業フォーラムの予防・健康増進ビジネス部会の取組紹介では、部会長である瀧本陽介(株)ヘルスケアシステムズ代表取締役から、フォーラム設立当初より30回を超えて開催してきた部会の歴史やご苦労話、部会での会員同士の連携を通じ

て生まれた新商品についてお話しいただきました。



中田光彦株式会社サラダコスモ商品開発部研究開発課リーダーからは、予防・健康増進予防ビジネス部会から生まれた商品を代表し、昨年9月に生鮮野菜で初めて消費者庁の機能性表示を取得した「大豆イソフラボン子大豆もやし」の紹介や、機能性表示取得のメリットや取得までのご苦労話に加え、機能性表示食品第2弾の「ベジフラボン」の紹介や今後の商品開発・販売促進の課

題など多岐にわたるお話をいただきました。

最後に、フォーラム事務局より、本年度のフォーラムの活動報告を行った後、出席者による交流会が行われ、出席者同士のヘルスケアビジネスに関する情報交換や交流が図られました。

フォーラムでは、今後も定期的に大会・交流会を開始、会員の皆様に役立つ情報発信、会員同士の交流の場を提供してまいります。

(新ヘルスケア産業フォーラム事務局)

